

2011 年度公開講座とオープン・クラス（公開授業） アンケート調査報告

仲 嶺 政 光

（富山大学地域連携推進機構生涯学習部門 准教授）



I 公開講座アンケート

ここでは、2011 年度における富山大学公開講座受講者に対するアンケート集計結果を報告する。

今年度の公開講座受講者は述べ 1177 人であり、アンケート回答者は 373 人であった。回収率は 31.7% である。

1. 集計結果

図表 1 回答者の性別

	度数	パーセント
男性	125	33.5
女性	221	59.2
無回答	27	7.2
合計	373	100

図表 2 回答者の年齢

	度数	パーセント
10代	4	1.1
20代	13	3.5
30代	46	12.3
40代	86	23.1
50代	73	19.6
60代	113	30.3
70代以上	29	7.8
無回答	9	2.4
合計	373	100

図表 3 回答者の職業

	度数	パーセント
フルタイム	137	36.7
パート	37	9.9
無職	148	39.7
学生	8	2.1
自営業	39	10.5
無回答	4	1.1
合計	373	100

図表 4 回答者の最終学歴

	度数	パーセント
義務教育	4	1.1
高卒	65	17.4
専門卒	39	10.5
短大卒	59	15.8
大卒	177	47.5
院卒	20	5.4
その他	4	1.1
無回答	5	1.3
合計	373	100

図表 5 回答者の通学時間

	度数	パーセント
15分以内	66	17.7
16-30分	156	41.8
31-60分	131	35.1
60分以上	17	4.6
無回答	3	0.8
合計	373	100

図表6 サテライト公開講座受講経験

	度数	パーセント
0回	236	63.3
1-5回	82	22
6-10回	13	3.5
11回以上	9	2.4
無回答	33	8.8
合計	373	100

図表7 公開講座受講経験

	度数	パーセント
初めて受講	157	42.1
1-5回	151	40.5
6-10回	46	12.3
11回以上	12	3.2
無回答	7	1.9
合計	373	100

図表8 その他の講座受講経験

	度数	パーセント
0回	183	49.1
1-5回	136	36.5
6-10回	13	3.5
11回以上	16	4.3
無回答	25	6.7
合計	373	100

図表9 講座の難易度

	度数	パーセント
平易	11	2.9
やや平易	26	7
ちょうどよい	225	60.3
やや難解	84	22.5
難解	16	4.3
無回答	11	2.9
合計	373	100

図表1は回答者の性別をみたものである。男性125人(33.5%)、女性221人(59.2%)となっており、若干女性の方が多くなっている。

図表2は回答者の年齢をみたものである。60代(113人、30.3%)、40代(86人、23.1%)、50代(73人、19.6%)の順に多くなっている。図表10で性別との関連をみると、男性は60代以上が多く(76人、62.3%)、女性は40～50代が多くなっている(120人、55.0%)。

図表10 性別×世代

	男性	女性	合計
30代以下	18	44	62
	29.00%	71.00%	100.00%
	14.80%	20.20%	18.20%
40-50代	28	120	148
	18.90%	81.10%	100.00%
	23.00%	55.00%	43.50%
60代以上	76	54	130
	58.50%	41.50%	100.00%
	62.30%	24.80%	38.20%
合計	122	218	340
	35.90%	64.10%	100.00%
	100.00%	100.00%	100.00%

図表3は回答者の職業についてみたものである。これは、何らかの職業を持つ者(フルタイム、パート、自営業)と持たない者(無職、学生)に大別される。前者は213人(57.1%)、後者は156人(41.8%)となっていて、やや有職者が多くなっている。

図表4は回答者の最終学歴についてみたものである。高校卒が69人(18.5%)、専門学校・短期大学卒が98人(26.3%)、大学・大学院卒が197人(52.8%)となっており、約半数が大学・大学院卒となっている。

図表5は回答者の通学時間についてみたものである。最も多かったのが16～30分以内(156人、41.8%)、続いて31～60分以内(131人、35.1%)となっている。

図表7は過去に公開講座を受講した回数をたずねた結果である。はじめて受講した者は157人(42.1%)となっており、四割以上の新規受講者がみられたことがわかる。

図表9は講座の難易度についてたずねたものである。「平易」が37人(9.9%)、「ちょうどよい」が225人(60.3%)、「難解」が100人(26.8%)だった。

図表11は、公開講座を受講したことによって得られたメリットについてたずねたものである(複数回答可)。「複数で学んだ方が効果的」(179人、48.0%)、「知識を活用する機会が増えた」(163人、43.7%)などが多くなっている。

図表 11

	度数	パーセント
知り合いが増えた	120	32.2
活動範囲が広がった	64	17.2
知識を活用する機会が増えた	163	43.7
自分の成長を実感できた	117	31.4
複数で学んだ方が効果的	179	48

図表12は、公開講座を知ったきっかけについてたずねた結果である。最も多かったのが「大学からの郵便物＝DM」(167人、44.8%)、続いて「知人を通じて」(73人、19.6%)、「Webサイト」(67人、18.0%)となっている。

図表 12

	度数	パーセント
新聞記事・折込	52	13.9
大学からの郵便物	167	44.8
知人を通じて	73	19.6
Webサイト	67	18
その他	24	6.4

以下は、自由記述に記載された内容である。

- ・許先生の公開講座がとてもわかりやすく、楽しく学ばせていただきました。次回は、中医学、漢方薬など理論を勉強したいと思いますので、よろしくお願いします。(日常生活における薬膳理論)
- ・ICTを活用した講座を企画してほしい。特に語学。(ebook 電子書籍…)
- ・初級クラスでしたが、はじめて受講しました。同クラスには既に昨年に受講された方が多く受講されていて、差を感じました。基礎クラスの的なものがあればと思います。講義は大変楽しく受けさせていただき感謝します。関係者の方そして先生に！(ドイツ語講座初級1)
- ・夜の講座の時間帯は帰りの公共交通機関の関係がありますので、教室・ロビーなど早く締めまり困ってます。時間待ちで待っているところを作っていただけるとうれしいです。(中級フランス)
- ・アスカクラスは楽しかったです。英語の詩集も作れてよかったです。このチャンスがなければ作れなかったと思う。(短い言葉で…英語講座)
- ・講座以外で中国人(留学生)と接する機会があればよい。(中国語講座)
- ・開始時に自己紹介、終わりに理解して記憶するための簡単なテストの希望。(むかしの書物…)
- ・イタリア、フランス歌曲の講座も設けてほしい。(ドイツ歌曲)
- ・受講生によるミニコンサートやジョイントコンサートなど催されれば良いと思う。(ドイツ歌曲)
- ・ドイツ歌曲のCD配布していただき、通勤の途中に聴きながらも学べるのもよいと思う。(ドイツ歌曲)

Ⅱ オープン・クラス（公開授業）アンケート

ここでは、2011年度における富山大学オープン・クラス（公開授業）の前学期受講生述べ171人に対するアンケート調査の結果を報告する（回収率65.5%）。

図表 13 回答者の性別

	度数	パーセント
男性	64	57.1
女性	38	33.9
無回答	10	8.9
合計	112	100

図表 14 回答者の年齢

	度数	パーセント
20代	2	1.8
30代	1	0.9
40代	13	11.6
50代	21	18.8
60代	50	44.6
70代以上	24	21.4
無回答	1	0.9
合計	112	100

図表 15 回答者の職業

	度数	パーセント
フルタイム	14	12.5
パート	15	13.4
無職	73	65.2
学生	1	0.9
自営業	7	6.3
無回答	2	1.8
合計	112	100

図表 16 回答者の最終学歴

	度数	パーセント
高等学校卒	13	11.6
専門学校卒	8	7.1
短大・高専卒	12	10.7
大学卒	72	64.3
大学院卒	5	4.5
その他	1	0.9
無回答	1	0.9
合計	112	100

図表 17 回答者の通学時間

	度数	パーセント
15分以内	8	7.1
16-30分	46	41.1
31-60分	53	47.3
60分以上	5	4.5
合計	112	100

図表 18 オープン・クラス受講経験

	度数	パーセント
0回	32	28.6
1-5回	43	38.4
6-10回	27	24.1
11回以上	9	8
無回答	1	0.9
合計	112	100

図表 19 サテライト公開講座受講経験

	度数	パーセント
0回	79	70.5
1-5回	18	16.1
6-10回	2	1.8
無回答	13	11.6
合計	112	100

図表 20 公開講座受講経験

	度数	パーセント
0回	60	53.6
1-5回	43	38.4
6-10回	1	0.9
11回以上	1	0.9
無回答	7	6.3
合計	112	100

図表 21 その他の公開講座受講経験

	度数	パーセント
0回	61	54.5
1-5回	34	30.4
6-10回	3	2.7
11回以上	4	3.6
無回答	10	8.9
合計	112	100

図表 22 オープン・クラスの難易度

	度数	パーセント
易しい	3	2.7
やや易しい	18	16.1
ちょうどよい	70	62.5
やや難解	15	13.4
難解	4	3.6
無回答	2	1.8
合計	112	100

図表 13 は、回答者の性別をみたものである。その結果、男性が 64 人 (57.1%)、女性が 38 人 (33.9%) となっており、やや男性が多い。

図表 14 は回答者の年齢をみたものである。60代 (50人、44.6%) が最も多く、70代以上 (24人、21.4%)、50代 (21人、18.8%) と続いている。図表 23 で性別との関連をみると、男性・女性とも 60代以上が多いが、女性の 40～50代の割合が比較的高い。

図表 23 性別×世代

	男性	女性	合計
30代以下	3	0	3
	100.00%	0.00%	100.00%
40-50代	17	17	34
	50.00%	50.00%	100.00%
60代以上	43	21	64
	67.20%	32.80%	100.00%
	68.30%	55.30%	63.40%
合計	63	38	101
	62.40%	37.60%	100.00%
	100.00%	100.00%	100.00%

図表 15 は回答者の職業についてみたものである。何らかの職業を持つ者(フルタイム、パート、自営業)と持たない者(無職、学生)にわけると、前者は 36 人 (32.1%)、後者は 74 人 (66.1%) となっていて、無職の割合が多くなっている。

図表 16 は回答者の最終学歴についてみたものである。高校卒が 13 人 (11.6%)、専門学校・短期大学卒が 20 人 (17.9%)、大学・大学院卒が 77 人 (68.8%) となっている。公開講座受講生よりも高学歴傾向が高い。

図表 17 は回答者の通学時間についてみたものである。31～60分以内がもっとも多く(53人、47.3%)、続いて 16～30分(46人、41.1%)となっている。

図表 18 は過去のオープン・クラスの受講経験についてたずねたものである。過去に 1～5回受講した者が最も多く(43人、38.4%)、はじめて受講(32人、28.6%)、6～10回受講(27人、24.1%)と続いている。

図表 22 はオープン・クラスの難易度についてたずねたものである。「平易」が 21 人 (18.8%)、「ちょうどよい」が 70 人 (62.5%)、「難解」が 19 人 (17.0%) となっている。

図表 24 は、オープン・クラスを受講したことによって得られたメリットについてたずねたものである（複数回答可）。「知識を活用する機会が増えた」（57 人、50.9%）「複数で学んだ方が効果的」（43 人、38.4%）などが多くなっている。

図表 24

	度数	パーセント
知り合いが増えた	20	17.9
活動範囲が広がった	14	12.5
知識を活用する機会が増えた	57	50.9
自分の成長が実感できた	23	20.5
一人より複数で学んだ方が効果的	43	38.4

図表 25 はオープン・クラスを知ったきっかけについてたずねた結果である。最も多かったのが大学からの郵便物 = DM（64 人、57.1%）であった。

図表 25

	度数	パーセント
新聞記事・折込	17	15.2
DM	64	57.1
知人を通じて	14	12.5
Web サイト	17	15.2
その他	7	6.3

以下は、自由記述に記載された内容である。

- ・ 学生の学習意欲の向上が期待できる授業として、課題、レポートなど一緒にできたのはよかった。
- ・ 高岡キャンパスで、中国語の中級程度の会話主体の授業科目があれば受講したい。
- ・ 学内は以前より清潔になり、気持が良い。
- ・ 今年の受講は、快く学生が受け入れてくれ、仲間としての授業環境で、楽しく熱中した学び方、知識を増やすことができ感謝の気持ちである。
- ・ 浄瑠璃を読んで、江戸時代の人々の生活習慣や考え方を知ることができたのは良かった。機会をみつけて本物の人形浄瑠璃を観に行きたい。
- ・ 学生から元気をもらえたようで気持ちが若返ったように思う。
- ・ 試聴期間を2週間にしたい。1週目に都合がつかないと受けたいものも諦めないといけなくなる。
- ・ 1年間を通じて1つのテーマ、1つの教科書を最初から最後まで教えて欲しい。
- ・ 知識を広めることができ、毎回楽しく受講できた。特にグループディスカッションが楽しかった。
- ・ 適切な指導のもとに初めての中国語をスタート出来た。毎回楽しかった。
- ・ 休んだ間の各班のレポートを郵送してもらったことに感謝している。
- ・ もっとたくさんの講座をオープンにしてほしい。
- ・ 授業料以上の勉強ができた。
- ・ 社会人が自分一人だったため疎外感があった。
- ・ 実務を経験してきた者としては、知識のリアルに役立ったと思う。
- ・ 富大生と一緒に学ぶことができ、精神的に若返った気分楽しく受講できた。
- ・ 大きな講義室や大人数の受講生の講義の方が集中できる。逆の場合、授業内容に興味があっても躊躇して申し込みできない。
- ・ 経済に関する視野がふえ、新聞も興味をもって読めるようになった。また機会があれば参加したい。
- ・ 本を読んで意味が分からないときに講義によって理解する所があり参考になった。
- ・ 学生が仲間に入れてくれていると感じられるので、楽しく学ぶことができた。
- ・ 目を向けてこなかった分野への知見が得られ、研究の方向性を決める大きな助けとなった。